【携帯型の単体オプション/●印は標準構成のスペア】

※表示の寸法は約/突起物含まず



■一般什様 *本書に記載がない性能定格・仕様は、当防救急デジタル無線共通仕様書に準拠しています。

デジタル受信周波数	200MHz帯 デジタル消防救急無線周波数
アナログ受信周波数	特定小電力 421.575~422.300MHz 最大 48 チャンネル 消防無線 142.000~154.990MHz 最大 126 チャンネル 署活系無線 466.350~467.375MHz 最大 80 チャンネル FM ラジオ 65.0~89.9MHz 最大 7 チャンネル+選局モード ※但LPタイプは特小無線47ch全でで送受信が可能 ※全て指定のChだけを設定して納入(バンド受信は不可)
周波数ステップ	6.25KHz
アクセス/変調方式	SCPC / π/4 シフト QPSK
空中線インピーダンス	50Ω 不平衡(DR-XF5系はダイバーシチ受信対応)
電源電圧	DJ-XF5N/P: 4.8~7V DR-XF5N : 12~28V DR-XF5CR: 12~16V
消費電流(約)	DJ-XF5共通: 0.3A以下(アナログOFF時)/最大出力時: 0.5A DJ-XF5P: 特小無線送信時 0.4A DR-XF5共通: 0.25A以下/最大出力時: 0.5A DR-XF5CR: DCR待受時 0.35A以下/最大出力時: 1A 5W出力送信時: 2.5A 以下

١.			
	電池使用時間	1	デジタル波受信1: 待受19(定格)にて DJ-XF5/DR-XF5共通 8時間以上
	外形寸法 (約/突起物含まず)		DJ-XF5 H115mm × W58mm × D43mm DR-XF5 H50mm × W172mm × D162mm
	質量 (約/本体のみ	r)	DJ-XF5(共通): 240g以下 DR-XF5N : 900g 以下 DR-XF5CR : 1200g 以下
	温度範囲	本体電池パック	性能保証:-10℃~50℃/動作保証:-20℃~60℃ 充電:0℃~40℃/放電:-20℃~60℃
	湿度範囲		95%以下(35℃)
	外郭保護性能		DJ-XF5: IP67 耐塵防浸 DR-XF5: IPX2 防滴II相当
	対環境性		RoHS適合
■電気的特性			

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
音声出力	DJ-XF5 0.5W以上 / DR-XF5 2W以上(音声最大時)

※ 本製品は防爆仕様ではありません。

■準拠する規格

- *消防救急デジタル無線共通仕様書第一版
- *狭帯域デジタル通信方式(SCPC/FDMA)標準規格 ARIB STD T61 1.2 版 消防救急デジタル無線
- *総務省技術適合基準 デジタル簡易無線登録局 ARIB STD T98 1.1版(DR-XF5CRのみ) / 特定小電力無線 ARIB STD-20 4.1版(DJ-XF5Pのみ)
- *振動、衝撃 JIS -衝撃: JIS C 60068-2-27 振動: JIS C 60068-2-6 MIL STD-810G または相当の下位規格 -Shock: Method 514.6/I,IV -Vibration: Method 516.6/I
- ■外郭保護等級について(お願い:必要以上に乱暴に電子機器を扱うことは、お止めください。)
- IP67 耐塵:埃や塵が直ちに製品の故障に繋がらない。防浸:特定の条件で真水が製品内部に浸透しない。
- IPX2 防滴II:15°以内で傾斜しても垂直に滴下する水に対して保護されている。

充電器など、特に外郭保護を謳っていないアクセサリーには適用されません。 風圧や水圧が掛かる場合、 金属製・油性・酸や塩分・化学物質を含む等の特殊な粉度や液体の場合は、これらの外郭保護性能は保証されませ ん。部品に使われている素材は経年変化のために変質し、保護性能が低下します。外郭保護が非常に重要な場合は、定期的な保守点検をお勧めします。振動と衝撃に関してはJIS規格と、米軍納入規格MILスペックの MIL-STD-810に準拠した試験をクリアしています。「衝撃」とは、固い地面に製品を落とす「落下」とは異なり、例えば急ブレーキで大きなGがかかるようなことを想定した試験です。



定格・仕様・外観等は予告なく変更することがあります。使用方法、保守・点検などアフターサービスに関するお問い合わせは、まず、本製品を管理される自治体組織の通信機器担当者様にご相談ください。 ↑ ご注意 掲載の写真の画像は一部合成しています。撮影・印刷の条件により、色調は実物と異なって見えることがあります。又、品番などの表示や部品の色、表面仕上げなどは実際と僅かに異なるものがあります。 使用方法や使用環境によって、電池パックの実用時間は大きく変わることがあります。

● 製造元

Pルインコ株式会社

■電子事業部

- ●東京堂業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁月3-4日本橋プラザビル14階 ☎03-3278-5888(代表)
- ●大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9淀屋橋ダイビル13階 ☎06-7636-2361(代表)
- ●福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3-6第3博多偕成ビル7階 ☎092-473-8034(代表)

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に 注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用 必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

● 販売元

三和シフテムサービフ株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-477 福島ビル3F TEL 048-653-2211 FAX 048-653-2217

ALINGO

携帯型

DJ-XF5N

内蔵仕様

JAN: 4969182350326 総務省技術基準適合品



総務省消防庁 消防救急デジタル無線共通仕様書準拠

消防救急デジタル無線 受令システム

XF5 シリーズ



DR-XF5CR

DR-XF5N

署所端末/車載用

JAN: 4969182341003

登録局内蔵仕様

JAN: 4969182341010 総務省技術基準適合品 ユニット内蔵



▲ 【重要】 本製品は、一般消費者を対象としたものではありません。本製品の購入と使用は自治体が認める関係者に制限され、全ての製品は製造番号によって使用者が特定できるよう管理されています。 チャンネルや基本の機能は、守秘義務があるブログラミングソフトを使って発注元の指定通りに設定してから納品されます。ユーザーが個別に機能設定をリクエストしたり、納入後に自分で設定を書き換えることはできません。 変更する場合は発注元の管理責任者の依頼により、執入者側が再設定します。納品後の設定機能、操作方法、保守・点検については管理責任者にご相談ください。













■D.J-XF5 本体

■電池パック EBP-500SP(4本セット)

■充電器 EDC-500

■充電器用 ACアダプター EDC-501

■アンテナ EA-XF5(DJ-XF5Nのみ/XF5Pのアンテナは本体に固定)

※納入の仕様により、異なる場合があります。単体オプションは裏表紙をご覧ください。

主な仕様と機能

- ●任意の数にバンク分けできる、合計256chの受信チャンネルを装備
- ●単三アルカリ乾電池4本でも6時間の受信を実現
- ●基地局FH群と移動局FL群の信号を受信、交互スキャンで自動モニタリングも可能
- ●総務省消防庁の仕様に基づくJ-ALERT受信機能
- ●「パスワード認証」でセキュリティ管理は安心
- ●付属充電池、ACアダプター代わりに使える付属充電スタンド、アルカリ乾電池と、 3Wayのマルチ電源仕様
- ●付属充電スタンドは、市販のMicro USBケーブルでパソコンやUSB式ACアダプター に接続して充電が可能
- ●デジタル消防救急波と自動切り替えでアナログFMラジオ放送、アナログVHF消 防救急波、UHF消防署活系、特定小電力無線も受信
- ●グループセレコールは最大で62グループ実装可能、個人宛てのメッセージ発報 にも対応(応答確認はできません)
- ●フルドットマトリクス液晶で、JIS第一、第二水準の漢字、カナ、英数字、記号を表示
- ●液晶表示でも着信を知らせる一斉受信機能(音声、ショートメッセージ)
- ●電池パックは定格出力で8時間以上、最大ボリュームで連続して鳴らし続けても3 時間以上の運用時間を達成(EBP-500 使用、LEDランプ:OFF、アナログ:OFF)
- ●1件60秒、最大10件まで、出動など特定の指令を受信したときの信号を自動録音
- ●P仕様はN仕様と同等の機能に加えて特定小電力無線の単信、半複信全47chで

※P仕様のアンテナは固定式となりますので外部アンテナは接続できません。特にアナログVHF消防救急波の 受信可能エリアは従来のアナログ受令機よりも狭くなることがあります。



ねじ込み式のイヤホンで万全の防水 ※ベルトクリップEBC-33は別売です。



ハードケースをつけたままで使える充電器は、充電 しながら、または電池なしで本体を載せて受信する 「ACアダプター付きスタンド」としても機能



単3アルカリ乾電池でも受信が可能





(DR-XF5CRのみ付属)

DR-XF5CR

【DR-XF5の標準構成/共通】

- ■DR-XF5 本体
- ■ギボシ端子付DCケーブル UA0086
- ■取り付けブラケット BG0018およびネジー式(BG0018のスペアは部品として販売)



DR-XF5N

CR仕様はデジタル簡易無線登録局の全チャンネルで送受信が可能



デジタル簡易無線用 SMAコネクター(CR仕様のみ)

ダイバーシチ受信用 M型コネクターを2個搭載(共通)



単3アルカリ乾電池6本を内蔵、外部電源なしでも受信できます。

【車載型の単体オプション/●印は標準構成のスペア】



DCケーブル(共通/スペア部品扱い) コード長さ 約2m

UA0086

ヒューズ定格 5A



防水スピーカーマイク(CRのみ) ※ケーブル長5mの 特殊仕様もあります。 EMS-500

車載型をAC100Vで使うとき

IP67の耐塵・防浸型 イヤホン接続可能 マイクハンガー金具付



EDC-702

JAN:4969182394405

EDS-21 JAN:4969182394405 のACアダプター EDS-21(別売)でプラグ形状 を変換して接続

主な仕様と機能

- ●バンクあたり16ch,最大16バンクまで任意に設定できる合計256chの受 信チャンネルを装備
- ●基地局FH群と移動局FL群の信号を受信、交互スキャンで自動モニタ リングも可能
- ●総務省消防庁の仕様に基づくJ-ALERT受信機能
- ●「パスワード認証」でセキュリティ管理は安心
- ●定期的に自動で動作チェック、故障が有れば知らせる自己診断機能と、 CPUハングアップを回避する自動リフレッシュ機能
- ●デジタル消防救急波と自動切り替えでアナログFMラジオ放送、アナ ログVHF消防救急波、UHF消防署活系、特定小電力無線も受信
- ●グループセレコールは最大で62グループ実装可能、個人宛てのメッ セージ発報にも対応(応答確認はできません)
- ●フルドットマトリクス液晶で、JIS第一、第二水準の漢字、カナ、英数字、 記号を表示
- ●液晶表示でも着信を知らせる一斉受信機能(音声、ショートメッセージ)
- ●単3アルカリ乾電池6本を内蔵、外部電源なしでも受信可能
- ●1件60秒、最大10件まで、出動など特定の指令を受信したときの信号を
- ●N仕様はDC12V/24V両方に対応(CR仕様は12Vのみ)
- ●ツイン仕様のMコネクターは受信形態やアンテナの設置本数に合わせ てダイバーシチ(デジタル2系統&アナログ1系統)、シングル(1系統で D/A共通)、セパレート(デジタル1系統、アナログ1系統)を切り替え可能
- ●CR仕様はN仕様と同等の機能に加えてデジタル簡易無線登録局の 全チャンネルで送受信が可能

(単三アルカリ乾電池6本の予備電源でも動作しますが、出力や運用時間は外 部電源運用時より劣ります)

デジタル簡易無線登録局DCR/3Rについて

■資格不要: 簡単な登録をするだけで最大5Wものハイパワーで通話ができます。Km単位の通話ができるた め、特に消防団では訓練や捜索時などの連絡に便利です。

■登録とコスト:事前に総務省に有償の登録申請を行います。5年ごとに更新が必要で、1年ごとに電波利用 料を総務省に納付する義務があります。詳しくは販売店にご相談ください。